

2. 事例報告「みんな仲良し湖北台」 五十嵐顯一 氏

no	質問	回答
お祭り、イベント関係		
1	夏祭りを開催した時、高齢者スタッフが多く、体調を崩しかねない状況になりました。若い方の参加を増すアイディアをご教示下さい。定年の延長、そもそもベッドタウンなので。	スタッフを含め参加者の体調を優先するのは当然だと思います。対策として、移動式のエアコンとテント、組立式のベットとスポーツドリンクは用意しました。人脈をどう作るかだと思います。だめ元で、とりあえず声をかける。当日だけでも、1時間だけでも、ハードルを下げて、参加を促す以外ないと思います。
2	<input type="radio"/> イルミネーションの維持、メンテナンス費用（電気代など）はどうしてますか？ <input type="radio"/> 湖北駅のイルミネーションは、連合会でどのように飾り付けや電源手配、道路使用許可などを行っているのでしょうか？	費用を含め、商店会が中心となって、実施しています。用具などは、商店会の倉庫に保管し、飾り付けなどは、有志が行っています。連合会としては、直接関わっていません。
3	町会を越えた地域ぐるみのイベントを多く行っており感心しました。その経費は町会費のみでは負担が難しいと思いますが、①町会からの分担金②公的機関からの分担金③寄付・募金からの負担割合はどの位になっているでしょうか。差し支えなければ、25年度の場合、町会連合会、各町会の負担額がお示し願えれば教えて下さい。ちなみに、町会費は世帯当たり年間おいくらでしょうか？	イベントにより資金源が異なるので一概には言えません。鯉のぼりについては、全額連合会負担です。各自治会は我孫子市より補助金を受けているので、二重取りになり、我孫子市の補助はありません。サマーフェスタは、各自治会より会員数×400円で上限11万です。寄付金（協賛金）は全体の2割程度です。サンバは、全額が、寄付と協賛金ですので、我孫子市の補助申請をしていますが、まだもらっていないません。また、連合会では、各イベントに出店（ミニ縁日）しています。売り上げは運用資金に充てています。キッチンカーの出店には、出店料を徴収しています。
4	<input type="radio"/> 毎年やっているイベント、新しくやるイベントの提案等は、役員会できめてますか？ <input type="radio"/> 各自治会のイベントに於けるバーベキュー、炊き出し、焼きそば、焼き肉の費用は、自治会より費用がでているのでしょうか。自治会より費用がでているので有れば、賛同が得られているのでしょうか。飲み食いに自治会費を使用することに会員より賛同が得られにくい。	コロナ禍で数々のイベントが中止に追い込まれました。再会には役員全員の同意が必要でしょう。しかし、新規イベントや内容の変更については、役員間で協議し、会員にはかるのが道理でしょう。各種イベントはそもそも親睦が目的ですので、役員で満場一致すれば問題ないと思います。ただ一点、役員のみの親睦を会費でまかなうのは、少し問題があると思います。自治会主催のイベントは、少なくとも全会員に参加資格があるべきと思います。
自治会連合会関係		
1	<input type="radio"/> 11自治会の連合会発足のきっかけは何ですか？ <input type="radio"/> なぜ、連合会を設置する様になったのか？ <input type="radio"/> 11の自治会から自治会連合会の発足の経緯についてお聞かせ下さい。 <input type="radio"/> いくつかの自治会が集まって、連合会がつくられた経緯と目的をお教え下さい。私たちも周辺の自治会とつながりたいと考えています。	『湖北台地区の「豊かなふるさとづくり」を目指し、各自治会の相互の親睦と地域の発展に寄与する事を目的とする。』と規約に明記されています。発足はおよそ40年前なので、つくられた経緯についてはわかりませんが、各自治会がバラバラに活動するのではなく、まとまる事は、地域の問題を解決する上でとても有効だと思います。
2	連合会とまち協の関係、棲み分けはどうなっていますか？	連合会は自治会長をバックアップする組織だと思っています。自治会長は孤立しがちですから。それでも連合会は、3つの実行委員会を総括しています。まち協は近隣センターの行事中心です。構成員は重複していますが、それぞれの立場で参加しています。互いに特色あるイベントを企画し、日程が重ならないように調整しています。

3	連合会には、団地、戸建て等、自治会の特性あると思うが、どのようにまとめているのか。	それぞれの立場を尊重する。満場一致が原則ですが、多数決の場合もあります。ほとんどが1年で改選するので、合意形成は簡単ではありません。諦めずに粘り強く取り組んでいます。そもそも、まとめられないものと思っていれば、少しの合意でも嬉しいものです。
4	連合会役員の選出枠（各自治会から理事2名、代議員2名）は、発足当時からの現数で決めているのでしょうか？	おそらく、発足時からだと思いますが、規約の中に書かれている事以外は分かりません。
5	連合会（湖北台地区）は、まちづくり協議会とは別組織でしょうか？連合会は会長以下何名で、任期は何年で、予算はどうされているのでしょうか？	重複している人はいますが、別組織です。11自治会から理事2名（新旧会長）、代議員2名（各自治会員から選出）の44名です。任期は2年ですが、2年目も出席される方は少ないです。代議員は総会のみの参加です。各自治会から年間25000円の会費を頂いています。予算案は役員で起案し、理事会で承認を受けます。
6	各自治会と連合会の各会費はどう分担しているのか？	自治会には我孫子市から、一人あたり年間300円の補助が出ています。会費額は各自治会で違いがあります。連合会は各自治会から年間25000円の会費を徴収しています。各自治会で資金力と動員人員に差があるので、定額徴収には課題が残っています。
自治会役員、担い手関係		
1	自治会の役員等は、みんなで交代、順番に出来れば理想です。なぜなら、やれば自分は勉強にも、人のつながりも出来ると思いますが、次世代を巻き込むには、又、今後の自治会の方向はどのようにすすめばとお考えですか？おしえて下さい。	自治会活動は苦労も多いですが、得る物も多いです。未経験な活動はハードルが高いものです。まして、コスパやタイパなど、効率のみを重視する風潮が強い中、若い人を巻き込むのは難しいと思います。でも必ず同調者はいます。どんな事でも時間がかかるものです。焦らず、腰を据えて取り組むべきだと思います。期待が強すぎると、どうしても命令調になってしまうので、注意が必要だと思います。
2	○私の自治会でも役員のなり手が無い等、問題をかかえていますが、役員選出にあたり良い方法等ありましたら、教えていただきたい。 ○やはり役員の担い手が少なくなってきたのが1番の課題です。 ○自治会・連合会役員の選考方法をご教示願いたい。	役員のなり手が無いのはどこも同じだと思います。連合会も互選していますが、均等にという訳にはいきません。良い方法があれば、逆に教えていただきたいと思います。出来ることならやりたくない。これが本当の気持ちでしょう。色々な人と知り合える。人の役に立った事が実感できる。これくらいが利点でしょうか。役員を罰ゲームの様な感覚でとらえている人もいますから、注意が必要だと思います。
3	○役員の任期は1年なので、始まりは手さぐり状態で、慣れてきたときに交代になる。皆様はどのように対処しているのか伺いたい。	2年任期で毎年半数が改選する自治会を知っています。良い方法だと思いますが、導入初年が難しいと思います。とにかく1年間我慢すれば、いいと思っている人が大半です。やればそれなりに自分の力になるのですが、理想と現実の狭間で苦しんでいます。
4	○湖北台役員の年齢層等、お聞きできたらと思います。 ○高年齢化はどこも同じだと思いますが、年齢制限はあるのか伺いたい。	80歳以上には、配慮している自治会が多いです。一部の自治会は規約に明記しています。今の社会環境では、現役世代が仕事と自治会活動を両立させるのは難しいと思います。しかし、80歳以上で役員をやっている方、現役世代で会長をやっている方もいます。
5	自治会役員の負担軽減が先行し、会員にとって必要であった制度が廃止する傾向にあることに疑問を感じている。	役員の担い手が少ない今、負担軽減は必要不可欠と思います。しかし、必要な物まで削減する事が良いとは思いません。役員間は勿論、会員全体で協議すべき事と思います。湖北台でも、役員だけでイベントへの不参加を勝手に決めたと、会員から苦情が出て、問題になっています。一筋縄ではいきません。

6	人脈が財産に、やりたくなる活動にまでするための心構えを教えて頂ければうれしいです。	人材は必ずいます。そう信じて声をかけます。顔見知りになるだけでも1歩前進です。人の役に立ったと実感すると、人は動きます。自分が楽しくなければ、人が楽しいはずがありません。まず、自分が楽しむ事が第1歩だと思います。楽しければ続けられます。
行事や会議への参加関係		
1	当方も1年交代の自治会長は、何かと参加が悪い。どのように、参加を頂いていますか？	社会全体が自治会活動等に理解があった昔とは違い、今は利益優先な社会です。仕事を休むと言えば、仕事を辞めろと言われかねない社会です。会長も無理して参加していると考えるべきでしょう。会議も休日の夜、リモートや代理を認め、そんな配慮が必要な時代であることを認識すべきと思います。愚痴が言えると参加者は増えます。
2	高齢者が多く大変である。今後若い人がどの様に参加出来る様にするかが、課題である。	年齢的に活動が困難な場合がありますが、出来る範囲で活動しています。現役世代は、多くの時間を割くのは困難です。また、家族で過ごしたいというのも、しかたのないことです。
加入促進関係		
1	平日、日中に大災害が発生した場合に、子供がいる学校へ、多くの避難者が集まるが、両親が仕事に出ていると帰ってくる事が出来ない。その為の、行政、学校、自治会、マンション管理組合などの連携が出来ていないと聞いています。子育て世代を自治会活動へ参加してもらう事にもつながると思いますが、いかがでしょうか？	その通りです。災害は忘れた頃にやってくる。と言いますが、なかなか自分事として認識できないものです。東日本大震災でも、日頃から連携がとれている地域では死傷者が少なかったという統計結果が出ています。まず、知り合うことから始めていくべきだと思います。
2	湖北の各自治会は、団地に住む方以外に加入対象になっているのか？	形態にとらわれず、湖北台に住む人全てが対象です。最近のアパートについては、管理組合が人数分を7掛け等で負担している場合があります。
防犯防災活動関係		
	自主防災体制の確立	組織はありますが、実行組織としては不十分です。布佐地区の連合会が現実的な防災訓練を実施しているので、先日、その説明を受け、現在は組織作りに着手しているところです。
広報、ホームページ関係		
	写真等の宣伝がありましたが、ホームページはいかがしてますか。	詳しい方がいますので、お願いしています。やはり人材が命です。
感想、その他ご意見		
	色々考えさせられ、私共、出来ること多々あると思いました	微力だけれど、無力ではない。出来ることから始めるという気持ちが大切だと思います。
最後に		
	我々には2本の腕、10本の指しかありません。出来ることには限りがあります。それ以上を望めば、無理が生じます。精神的にも大きなダメージを受けます。とりあえず、今出来る事をすれば、状況が変化し、事態が好転する場合もあります。高望みせず、一歩一歩進んでいくべきでしょう。 そうすれば、きっと貴方に同調する人が表れます。それを信じて頑張りましょう。でなければ、こんな面倒くさい事やってられませんよ。ハッハッハッハッハッハ。（文責：五十嵐）	